



瀬谷公会堂は、隣接する瀬谷区総合庁舎と二ツ橋公園とともに、老朽化やバリアフリー化などに対応するため、PFI方式により再整備が進められた。新しい公会堂は講堂の音響性能にこだわり、音響測定をふまえて客席などの仕様が決まったほか、完全防音のリハーサル室や親子室も新設され、以前より幅広い活用が見込まれている。客席の前方は可動席として、移動可能な仮固定式になっており、収納時はスタッキングもできる。持ち運びに便利な軽量設計ながら、座り心地にも優れている。固定席は、可動席のデザインを踏襲したスクエアなデザインで、側面の飾り板がなく、LEDの客席誘導灯もフレーム内に収まるユニークな意匠となっている。背と座は3色をランダムに配置し、賑やかさが演出されている。



神奈川県

## 横浜市瀬谷公会堂

YOKOHAMA CITY SEYA PUBLIC HALL

設計・監理：NTTファシリティーズ・環境デザイン研究所 設計・工事監理共同企業体

講堂 / 固定席：ATS-1100DR特注品 434席、移動席：LSPA特注品 58席  
他に、親子席 6席、車イス席 4席